

病院の実力 読売新聞2022年8月21日

2022年8月21日 読売新聞 病院の実力

医療機関名	病院の実力「大腸がん」				
	手術総数	うち腹腔鏡	うち直腸がん手術	うち直腸がんの件数	内視鏡的粘膜下剥離術
件	件	件	件	件	件
大阪府					
大阪急性期・総合医療セ	265	184	67	36	
大阪赤十字	241	179	54	17	
関西医大	224	193	0	31	
大阪医療科大	220	141	72	63	
近畿大	220	136	48	88	
大阪大	202	145	51	38	
大阪労災	199	128	50	52	
大阪警察	191	108	34	34	
堺市立総合医療セ	187	149	33	44	
国・大阪医療セ	169	136	24	8	
ペルランド総合	159	93	41	13	
守口敬仁会	154	139	0	33	
市立豊中	152	96	46	8	
市立東大阪医療セ	149	85	44	13	
大阪公立大	137	111	24	33	
八尾市立	135	130	5	18	
済生会中津	132	127	3	—	
淀川クリスト教	124	80	33	44	
府中	120	47	41	30	
りんくう医療セ	111	87	0	8	
市立池田	105	95	0	28	
JCHO大阪	104	101	0	96	
市立吹田市民	98	82	5	11	
済生会吹田	90	80	0	16	
市立貝塚	89	61	0	2	
箕面市立	88	53	18	30	
風呂屋	73	70	0	22	
関西医大総合医療セ	71	64	0	—	
大阪鉄道	69	59	0	12	
松下記念	64	56	0	1	
耳原総合	63	59	0	20	
住友	61	41	12	12	
市立岸和田市民	56	50	0	13	
高槻	54	37	0	10	
第一東和会	53	45	0	29	
日本生命	52	47	—	8	
関西医大香里	43	41	0	2	
高槻赤十字	43	38	0	11	
北摂総合	41	40	0	0	
浅香山	35	20	0	0	
清恵会	20	3	0	0	
大阪市立十三市民	17	15	0	0	
大阪中央	16	14	0	0	

全国の調査結果は17日の「安心の設計面」に掲載しました。

—治療の選択は、ます、肛門から内視鏡を挿入する内視鏡治療と、手術でのがんの切除を検討します。良性ボリープや早期がんの場合は、内視鏡で治療でできます。進行している時は、腹部に数か所の穴を開けて行う腹腔鏡による手術が主流となっています。

近年では、手術支援ロボット「ダビンチ」を使って、腹腔鏡と同じように腹部に

太陽急管期 総合医療十ノ文

今日は、がんの部位別で最も患者が多い大腸がんを取り上げる。早く見つけた治療すれば治る可能性が高いが、進行するまで症状に気付きにくい。大阪急性期・総合医療センター（大阪市住吉区）の齊川義規・消化器外科副部長に治療法などを聞いた。（東京奈

大腸がん
病院の
実力

*大阪編171

便潜血検査 毎年受けて

ボリープは数年かけてがん化することがあります。受診を考えてもいいと思います。

腹腔鏡手術最も普及

大腸は結腸と直腸に分かれます。一覧には手術や内視鏡治療の件数を示しました。手術は開腹、腹腔鏡、手術支援ロボットに分類されました。最も普及しているのが腹腔鏡で、腹部に開けた数か所の穴から、先端にカメラが付いた器具などを入れ、操作する。開腹よりも傷が小さいことから痛みが少なく、術後の回復も早い。

手術支援ロボットのダンスによる手術も広がっており、直腸がんは2018年4月、結腸がんは今年4月、公的医療保険が利くようになりました。ロボットを使ってことで、手ぶれがなく、先端がやがて手用器具により細かい動きを再現しやすくなります。一方、扱う医師の習熟度には差があり、開腹や腹腔鏡手術に比べて時間が長くなりやすいとのデータもある。手術後の長期的な安全性や生存率の検証が課題となっています。

内視鏡治療には、電気ノズルを使って病変を剥がす中視鏡的粘膜下剥離術（EMSD）などがある。

手術件数の多さは指標となりますが、患者さんの病状や体力、生活に応じて必要な治療が受けられるよう、放射線治療や化学療法、なんゲノム医療なども組み合わせて対応できる病院がいまいと見えます。手術までの待機期間と、術後の立場入院期間の短さも自ら安心するでしょう。